

豊田市環境基本計画後期重点プロジェクト 勉強会実施報告
次期環境基本計画策定に向けて

1. 概要

- ねらい：次期環境基本計画の策定に向けて先進的な事例や市民参加の手法について学ぶ
- 日 時：2015年12月4日（金）13：30～16：00（私たち向け勉強会：内部勉強会）
- 場 所：豊田市環境学習施設 eco-T(エコット) 2F多目的室
- 講 師：下村委津子さん（環境市民理事・フリーランスアナウンサー）
- 参加費：無料
- 参加者：32人（市民15人、安城市民12人、豊田市役所2人、事務局3人）
- 主 催：NPO法人とよたエコ人プロジェクト（自主事業）、協力豊田市
- その他：安城市民交流センターの視察見学があった

2. プログラム

時間（経過）	内容
13：30（5）	開会、趣旨説明
13：35（15）	（1）豊田市環境基本計画概要紹介（豊田市役所職員）
13：50（70）	（2）講演「地域を元気にする！事例に学ぶ環境基本計画」（講師：下村委津子）
15：00（15）	休憩
15：15（15）	（3）質疑
15：30（30）	（4）ワークショップ「私が市長なら！マイ環境政策」と発表
16：00（15）	（5）講評
16：15	閉会

3. 実施内容

（1）講演の概要

- ・認定NPO法人環境市民は、市民が主体となる環境基本計画を策定するコーディネートをしたことがある。コーディネートなので、文章を書くのは参加メンバー。
- ・実行、実現されるために計画はつくるもの。そのためには、委員は公募。行政職員も委員も一緒に原案を作成する。対等な立場で会議を行う。誰が何をするかを明記しリーディングプロジェクト（核となり先導的な役割を果たす事業）主体の計画をつくる。セクター別に縦割りにせず、パートナーシップを重視。そして、エンパワーメント、地域巻き込み型の策定プロセスを重視する。
- ・計画は将来像を実現するためにつくるもの。将来像は誰も見たことがない。だから「将来社会のビジョン」を作り上げる必要がある。持続可能で豊かな社会、温室効果ガスの排出を半分以上にした社会とはどんな社会なのか。そのような社会で私たちはどのような生活、仕事をしているのか。経済や地域社会はどのようになっているのか。まずは、ビジョンを描く。その社会を実現するために、戦略、戦略に基づく政策、行動をバックキャストして構築する。
- ・スウェーデンには、国家としてのビジョンがある。安城市、福知山市、碧南市、日進市のビジョンの事例紹介。ビジョン、プロジェクト、計画、課題と問題に分けて考える。バックキャストとフォアキャスト。根源治療と対処療法。将来像とそこに至るシナリオが必要。

- ・パートナーシップは各々の主体の力が付く、主体間の関係をよくすることで地域力が向上する。主体間の違いは、エネルギーを生む。違う経験を持つ人は人脈も違う。思いもよらないことが生まれる。多様性は持続可能性の基盤となる。
- ・事例：公共交通の利用促進（運賃上限を下げた利用をPR）、アンテナショップの運営、リユースの促進、みどりのカーテン、わかりやすい環境報告書、グリーンフラッグ（小学校の環境学習）、

*主催者の意識

(2) ワークショップ

1	<p>ビジョン：環境モデル都市にふさわしい市民がいっぱい</p> <p>プロジェクト：知ってわかって広める とよたのまち人育て（行動できる人材）</p> <p>課題：多くの市民にとよたの取り組みを知らせる。自分事としてわかってほしい（意識をかえること）</p> <p>現状：計画を知らない、わからない市民が多い</p>
2	<p>健康のため、CO2削減のため、一駅は歩きましょう</p>
3	<p>問題：スーパーなどのゴミを買わされる</p> <p>課題：もらうゴミ物が多い</p> <p>プロジェクト：買い物かご見張り者</p> <p>ビジョン：家庭からのゴミゼロ化</p>
4	<p>Park & Ride 無料駐車場を各駅につくる！！</p> <p>（銀行、土日休業する企業、事業者のP等を有効利用。軒先パーキングの概念を拡大する）</p>
5	<p>ビジョン：世界（みんな）のために、あの手この手で、愚直に低炭素社会づくりに取り組みます。</p>
6	<p>公共交通機関の充実（車が無くても生活できる）</p> <p>※運賃安く（上限 200 円バス）</p> <p>※駅や公共施設、大型商業施設を網目状につなぐ</p> <p>※待ち時間上限 30 分</p>
7	<p>現状：エコライフ高齢者自転車（状況変化）が危ない（障害物が多い）</p> <p>課題：自転車道の整備（人を中心に考える）</p> <p>プロジェクト：スマート自転車道プロジェクト</p> <p>*問題点→理想像（車中心→人中心）</p> <p>ビジョン：自転車道と自動車の分離共存</p>
8	<p>子どもを安心して遊ばせられる場が少ない。</p> <p>公園周辺の自動車乗り入れ規制、見守ってくれる人の配置</p>
9	<p>ビジョン：豊田市では楽しくエコ活動することがミライのフツーになっている</p> <p>課題：豊田を好きになるような楽しさ、身近でない楽しい魅力不足</p> <p>現状：エコファミリー制度を知らない人がいる</p>
10	<p>現在クロメダカが絶滅危惧種になっています。安城の河川ではメダカらしきものは外来種のカダヤシです。メダカの住める環境を作り、メダカの里にしたいと考えて活動しています。農家の協力と行政の英断が必要です。コウノトリが飛んでくるような環境です。</p>

11	<p>★ゴミの量を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人 ひとり当たりのゴミ排出量を制限する ●企業 食料品の一つ買いの割高感を解消 <p>*お得感があると大量買いするので使いきれなくて生ごみが増えるから</p>
12	<p>買い物の時に使用するマイバッグ以外のマイ（エコ活動）を作り、市民に利用してもらいます。マイバッグを忘れないために</p>
13	<p>ビジョン：道路や屋外にゴミのないキレイな街づくり プロジェクト：市民がゴミをひろう、ゴミの分別（啓発）、街頭に花を植える、キレイな環境の維持（ゴミがゴミを産む）</p> <p>課題：市民の町をキレイにする&環境に対する意識が低い?? 問題：ゴミのポイ捨て、分別されていないゴミ袋（回収されない）、ゴミステーションが汚い</p>
14	<p>子どもへの環境教育</p> <p>ビジョン：小さいうちから教育することが、大人になって効果を生む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方的な教育ではなく大人も一緒にワークショップすることで、大人への環境教育につながる ・一緒に事業を提案し、実施する
15	<p>市民の環境意識の向上</p> <p>「豊田市民の誓い」に“一人一人の行動と共働により持続可能な社会をめざします”を追加する</p>
16	<p>市民の声を聞く</p> <p>地域ごとに問題を聞く会を計画的にすすめる → 問題解決に取り組む</p>
17	<p>ビジョン：未来の子どもたちのために（2050年の地球の姿のことを考え）森林率を上げる等、自然環境を守る施策をやっていきます。</p> <p>問題：宅地化により、どんどん樹木等が少なくなり、将来どのような市になるか？ 課題：樹木等を残す努力をする[プロジェクト]樹木を残す持続性をすすめる</p>
18	<p>安城市の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者が（障害者）が安心して住める地域サポート推進、 2 恵まれた土地であるが河川の美化は進みがにぶい、 3 市中心部と市の遠隔部との交通の不便さ <ul style="list-style-type: none"> ・安生は気温、気候に恵まれているが、寒冷差が無いため、良い米が作れない（日本のデンマークと言われているのに）ファーマーの悩み

4. アンケート

<p>提出者 18名（安城市民含め）</p> <p>1. 今回の勉強会（講座）はいかがでしたか？</p> <p>5：4名 4：11名 3：2名 2：1名 1：0名</p> <p>●印象に残ったことをお聞かせください</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境」のパターン化。学校－会社－家庭の循環型がみえる。 ・未来の主役になる子どもたちも共に作り上げていくこと。皆を巻き込んでいくこと、皆で1つのことに取り組めるヒントをいただきました。子どもが変われば、大人が変わる。

- ・他の市町村は取組んでいる事例が、特に参考になりました。
- ・ビジョン達成型アプローチの重要性
- ・環境政策全般、低酸素社会、自然共生社会、循環型社会
- ・ビジョンが大事!!現状を知ることが大切!!発想の転換をしながらこの人とだったらこの事はうまくいくと思ったら（確信したら）くらいついていく!!新陳代謝を良くする!!
- ・講座の内容が参考になった。
- ・フォアキャストとバックキャスト。やはり政策やプロジェクトを考えるまで大きな理想から逆算的に考えるというのは方法論として重要だなと感じた。
- ・市民活動の必要性（特に子供と一緒に）
- ・ドイツのまちづくりは、是非参考にしたいと思った。
- ・持続可能な社会・・・誰も持続不可能な社会を望んでいないのにその道を歩んでいるという現実
- ・ビジュアルな目標を作ること。時間をかけて自分の目標に高めていくこと
- ・焼却施設の管理はしっかり行われており、インストラクター制度で市民（訪問者）へ分かりやすく理解してもらう体制が行われていること
- ・環境基本計画をパートナーシップでつくること
- ・ビジョンと課題型プロジェクト
- ・市民参加のやり方を確認できてよかったです。豊田市の環境計画の人材養成が少しおそまつ。環境市民を増すことをもっと積極的にしたい

2. 関心のあるテーマは何ですか？

環境政策全般：3名　低炭素社会：5名　自然共生社会：9名　循環型社会：6名

その他：シェア社会、ネームバリュー、基本理念、人口の都市集中化による地方の疲弊化高齢化、少子化、差別化への対応、人材育成：人材がエコットと観察の森だけとは。もっと環境市民を育てることを考えては？

3. 豊田市の環境行政の特徴は何だと思いますか？

【強み】

- ・予算が豊富
- ・最先端環境技術（自動車）の行政への反映。農山村への環境取り組み。
- ・行政に対する市民の無関心
- ・環境学習の拠点
- ・環境に関する啓発活動を担えるNPOが存在している事。さらにそのNPOを支える一般市民がたくさんいる事。
- ・財政力
- ・トヨタ自動車为主导で企業のエコ活動をひっぱっている？
- ・世界のトヨタとの共生ができる
- ・企業にすり寄るすがた（企業にやさしく個人に厳しい）
- ・豊富な予算と有力企業があり、さらに山川の自然に恵まれている。それらのトータル資産を活用して市中心部の過密化分散、美化に取り組めるのではないか？

- ・ 3つの重点分野
- ・ 財政
- ・ エコの取り組みがある

【弱み】

- ・ 交通体系がプア
- ・ やるべきことが多い→やりがいがある
- ・ 広大な市域、地域差の有無
- ・ 公共交通機関の便利さが感じられない
- ・ 動作が伴わない
- ・ 便利性に富んだ町だが、世界のトヨタを誇る町として、もっとすっきりとした安心して街中を移動できる区画整理、美化への取り組み
- ・ 広報・認知
- ・ 子どもたちの力

4. あなたが思い描く豊田市の環境将来像について教えてください。

【よい方向】

- ・ ピッツバーグポートランド
- ・ eco な年交通制作の実現
- ・ 現在のような低炭素社会に向けた取り組みを愚直に継続してほしい
- ・ 学校・行政・NPO 等多様な団体が協力しあって、持続可能な社会づくりが進行していくこと
- ・ トヨタなどの企業の社会貢献のパワーと市民のパワーと行政と力を合わせて行うこと
- ・ 豊田市民ではないので分かりません
- ・ 山も里もあるので大切にしましょう
- ・ 車が無くても生活ができるまちづくり
- ・ 基本的に説明された内容の方向性は素晴らしいことだと思います
- ・ 人材育成
- ・ ごみの出ない朝市
- ・ エコ無料バス
- ・ 市民ひとりひとりが環境への配慮など意識の高い人になる

【悪い方向】

- ・ デトロイト
- ・ 児童公園こども広場にある樹を切り倒している。これが低炭素社会なのか
- ・ 6に書いたように（悪いのではなく）市民レベルにいかにより具体的な行動を実施できるかの認識知識を示して（その方向で活動されていると思いますので失礼なことを書きました）
- ・ 施策だおれ
- ・ 道路が車中心

5. 現在ご自身で取り組んでいる環境配慮行動があれば、教えてください。

- ・ 新しいクルマ社会～シェア社会

- ・生ごみコンポスト。雨水利用（雨だれを大きなバケツに）
- ・近い所への移動は車を使わず、徒歩自転車を使い野菜は自分の畑で栽培（育て）農薬はほとんど使用しない。
- ・エコ通勤（電車）
- ・不用なものは買わない。使わない。←家の中をきれいにしたいし、常に何があるのかを把握できるようにする事。コピー必要最小限。
- ・ごみを出さない。必要なものを必要量蓄える（箇条に買わない）
- ・ごみの分別。
- ・クロメダカの里づくり
- ・出来るだけ省エネ、ごみの低減
- ・環境美化の一環の中の小さなボランティア活動。高齢化の中での健康づくり。老後も自宅で安心して暮らせるサポートのできる地域活動ですが、なかなか全体に広がらず、力不足を大いに感じている次第です。
- ・近場は自転車で
- ・エコドライブ、ゴミ減量、資源ゴミ分別

6. そのほか、次期豊田市環境基本計画策定について感想・ご意見等自由にご記入ください。

- ・市民の覚醒～生まれた理由をハッキリさせて行動→中間の存在（行政には無理）
- ・車のいない社会へ
- ・豊田市の抱えるリスクに書いてあることから、何を課題として実現に取り組むべき事業、活動の具体策（は検討されていると思うが）を示すとよい。（我々市外の参加者にはそれが詳しく知りたい）
- ・今の常識はあすの非常識と思うべし
- ・計画は立案、実施されている（？）とは思いますが、市民にとっては自分事としてとらえられない。というより知らないことが多い。計画を見ても言葉が市民目線ではない。

以上